

1. 2016 Senri Life Science International Symposium

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
平成28年 1月22日(金) 参加者 125名 J6	Frontiers in Structural Biology - X-ray Free Electron Laser and Drug Discovery  —演題— ・ Introduction  ・ New Frontier in Structural Biology: Free Electron Laser ・ Beyond Crystallography: Diffractive Imaging Using Coherent X-ray Source ・ GPCR crystallography with X-ray lasers  ・ Structural and functional studies of bovine cytochrome oxidase by X-ray free electron laser and synchrotron radiation X-ray ・ Molecular and structural insights into opioid receptor activation ・ The application of Free Electron Lasers to biology: a new age of time resolved crystallography ・ Closing remarks	京都大学大学院医学研究科 教授 岩田 想 兵庫県立大学/大阪大学蛋白質研究所 特任教授/名誉教授・客員教授 月原 富武  —講師— Kyoto University, RIKEN SPring-8 Center, Japan Prof. So Iwata Kyoto University, RIKEN SPring-8 Center, Japan Prof. So Iwata UCLA, USA Prof. Jianwei (John) Miao University of Southern California, USA Prof. Vadim Cherezov University of Hyogo/Osaka University, Japan Prof. Tomitake Tsukihara  Stanford University School of Medicine, USA MD/PhD student Aashish Manglik Paul Scherrer Institute, D-BIOL, ETH Zurich, Switzerland Prof. Gebhard F.X. Schertler University of Hyogo/Osaka University, Japan Prof. Tomitake Tsukihara

2. セミナー

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
平成27年 5月11日(月) 参加者 204名 J1	粘膜免疫システムの解明と免疫疾患  —演題— ・ はじめに  ・ 栄養・腸内フローラを介した免疫制御と創薬研究への展開 ・ 食物アレルギーの病態と管理  ・ 粘膜免疫誘導型新規結核ワクチンの開発 ・ 腸内細菌による免疫エピゲノム修飾機構の解明  ・ 免疫疾患に影響を与える腸内細菌種  ・ 上皮幹細胞移植による大腸・小腸再生医療の可能性 ・ 炎症性腸疾患の発症機構の解析  ・ おわりに	医薬基盤・健康・栄養研究所/東京大学医科学研究所 プロジェクトリーダー/客員教授 國澤 純 大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潔  —講師— 医薬基盤・健康・栄養研究所/東京大学医科学研究所 プロジェクトリーダー/客員教授 國澤 純 医薬基盤・健康・栄養研究所/東京大学医科学研究所 プロジェクトリーダー/客員教授 國澤 純 国立病院機構相模原病院臨床研究センター 部長 海老澤 元宏 医薬基盤・健康・栄養研究所 霊長類医科学研究センター長 保富 康宏 慶應義塾大学薬学部 教授 長谷 耕二 慶應義塾大学医学部 教授 本田 賢也 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 教授 中村 哲也 大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潔 大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潔
平成27年 7月8日(水) 参加者 182名	脳内環境の破綻としての疾患研究フロンティア	京都大学大学院医学研究科 教授 高橋 良輔 名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 宏二

<p>J2</p>	<p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・リソソーム蓄積病メダカモデルにみる脳内環境の破綻</li> <li>・運動神経サブタイプの選択的脆弱性を規定するメカニズム</li> <li>・分子イメージングによる脳内環境の可視化</li> <li>・グリア細胞からみた神経変性メカニズム</li> <li>・ストレスによる情動変化における脳内炎症の役割</li> <li>・腸管免疫と神経炎症</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>京都大学大学院医学研究科 教授 高橋 良輔</p> <p>京都大学大学院医学研究科 教授 高橋 良輔</p> <p>慶應義塾大学薬学部 教授 三澤 日出巳</p> <p>放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター チームリーダー 樋口 真人</p> <p>名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 宏二</p> <p>神戸大学大学院医学研究科・医学部 教授 古屋敷 智之</p> <p>順天堂大学医学部 教授 三宅 幸子</p> <p>名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 宏二</p>
<p>平成27年 9月18日(金) 参加者 200名 J3</p>	<p>iPS細胞技術を活用した創薬研究</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・高機能なヒトiPS細胞由来肝細胞の創出と創薬研究への応用</li> <li>・ヒト iPS 細胞を利用した <i>in vitro</i> 血液-脳関門モデルの開発</li> <li>・iPS細胞モデルを使った骨系統疾患の病態解明と創薬</li> <li>・非臨床薬理試験においてヒト iPS 細胞由来神経細胞を活用するために必要なこと</li> <li>・iPS細胞における効率的なゲノム編集技術</li> <li>・ヒトiPS分化技術を活用した医薬品安全性評価法の公定化に求められる検証実験について</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 水口 裕之</p> <p>国立医薬品食品衛生研究所 薬理部 部長 関野 祐子</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 水口 裕之</p> <p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 水口 裕之</p> <p>国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 プロジェクトリーダー 川端 健二</p> <p>京都大学 iPS細胞研究所 教授 妻木 範行</p> <p>国立医薬品食品衛生研究所 室長 佐藤 薫</p> <p>京都大学 iPS細胞研究所 主任研究員/特定拠点助教 堀田 秋津</p> <p>国立医薬品食品衛生研究所 薬理部 部長 関野 祐子</p> <p>大阪大学大学院薬学研究科 教授 水口 裕之</p>
<p>平成27年 11月25日(水) 参加者 264名 J4</p>	<p>がんシリーズ第5回 「がん免疫療法の進展と将来展望」</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・がんペプチドワクチン療法は生き残れるのか？</li> <li>・免疫チェックポイント関連薬の臨床成績と今後の展開</li> <li>・日本発抗CD4抗体療法の開発</li> <li>・遺伝子改変T細胞療法の臨床成績、FITC-CAR-T細胞療法の開発</li> <li>・iPS細胞由来のミエロイド細胞による胃がん腹膜播種治療法の開発</li> <li>・iPS細胞由来T細胞療法の開発</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 分野長 中面 哲也</p> <p>山口大学医学部大学院医学系研究科免疫学 教授 玉田 耕治</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 分野長 中面 哲也</p> <p>国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 分野長 中面 哲也</p> <p>国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター 中央病院 先端医療科 免疫療法開発分野(併任) 医員 北野 滋久</p> <p>東京大学大学院医学系研究科 分子予防医学 教授 松島 綱治</p> <p>山口大学医学部大学院医学系研究科免疫学 教授 玉田 耕治</p> <p>熊本大学大学院生命科学研究部 免疫識別学分野 准教授 千住 覚</p> <p>京都大学iPS細胞研究所 准教授 金子 新</p> <p>山口大学医学部大学院医学系研究科免疫学 教授 玉田 耕治</p>

<p>平成28年 2月26日(金) 参加者 136名 J5</p>	<p>光遺伝学による脳・生物学研究最前線</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・睡眠覚醒調節と睡眠関連脳機能の制御メカニズムについて</li> <li>・皮質トップダウン情報は記憶の固定化に必須である</li> <li>・光遺伝学を用いたストレス性体温上昇メカニズムの解明</li> <li>・意欲・アパシー研究への応用</li> <li>・神経信号のグリア増幅回路の光制御</li> <li>・神経幹細胞の増殖と運命決定の光操作</li> <li>・大脳皮質シナプスと個体レベル行動との関連解析：新規光感受性シナプスプローブを用いたSynaptic optogenetics法の開発</li> <li>・おわりに</li> </ul>	<p>名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 章弘 慶応義塾大学医学部 准教授 田中 謙二</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 章弘 名古屋大学環境医学研究所 教授 山中 章弘 理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー 村山 正宜 名古屋大学大学院医学系研究科 教授 中村 和弘 慶応義塾大学医学部 准教授 田中 謙二 東北大学大学院医学系研究科 准教授 松井 広 京都大学 ウイルス研究所 特任准教授 今吉 格 東京大学大学院医学系研究科 特任講師 林(高木) 朗子</p> <p>慶応義塾大学医学部 准教授 田中 謙二</p>
---	---	--

### 3. 技術講習会

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師・協賛企業
<p>平成27年 6月30日(火) 参加者35名 講義のみ27名 講義と実習8名</p> <p>大阪大学 吹田キャンパス 薬学部講義室 研究室 G62</p>	<p>MACSを用いた細胞分離とFACSを用いた細胞表面蛋白質の発現解析</p> <p style="text-align: center;">—技術解説—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イントロダクション</li> <li>・MACSシステムによる磁気細胞分離原理とアプリケーション</li> <li>・フローサイトメトリーの原理とアプリケーション</li> <li>・キメラ抗原受容体 (CAR) 発現T細胞を用いた癌の養子免疫療法</li> </ul> <p style="text-align: center;">—実習—</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マウス脾細胞の調製</li> <li>・MACSによる細胞分離</li> <li>・FACSによる細胞表面蛋白質の発現解析</li> </ul>	<p>大阪大学大学院薬学研究科 薬剤学 教授 中川 晋作</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>大阪大学大学院薬学研究科 薬剤学 教授 中川 晋作 ミルテニーバイオテック(株)マーケティング部 森山 優子 ベックマン・コールター(株) ライフサイエンステクニカルマーケティング統括部門 関口 貴志 大阪大学大学院薬学研究科 准教授 岡田 直貴</p> <p>大阪大学大学院薬学研究科 助教 廣部 祥子</p> <p style="text-align: center;">—協賛企業—</p> <p>ミルテニーバイオテック(株)マーケティング部 ベックマン・コールター(株) ライフサイエンステクニカルマーケティング統括部門</p>
<p>平成27年 7月23, 24日 (木・金) 参加者28名 講義のみ7名 講義と実習 21名</p> <p>银杏会館、 吹田キャンパス の工学部A14棟/ 分析センター G63</p>	<p>質量分析による分子イメージング</p> <p style="text-align: center;">—技術解説—</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. イントロダクション (栗津邦男)</li> <li>2. MALDI-TOF-MSによるImaging MS概説</li> <li>3. 高解像度質量分析イメージング技術の紹介 —形態観察と定性分析の融合—</li> <li>4. 投影型イメージング質量分析技術</li> </ol>	<p>大阪大学大学院工学研究科 量子エネルギー工学 教授 栗津 邦男</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>大阪大学大学院工学研究科 量子エネルギー工学 教授 栗津 邦男 ブルカー・ダルトニクス(株) アプリケーション部 蕨澤 崇・工藤 寿治 (株)島津製作所 分析計測事業部 グローバルマーケティング部 山口 亮 大阪大学大学院理学研究科 助教 青木 順</p>

	—実習—	
	技術実習A 1. 組織切片作製 2. 手動スプレーによるマトリックス塗布 3. イメージング質量分析(Voyager-DE PRO, AB SCIEX)	大阪大学大学院工学研究科 准教授 間 久直
	技術実習B 1. 自動装置 (ImagePrep, Bruker Daltonics) によるマトリックス塗布 2. イメージング質量分析(autoflex III, Bruker Daltonics)	ブルカー・ダルトニクス(株) アプリケーション部 蕪澤 崇・工藤 寿治  —協賛企業— ブルカー・ダルトニクス(株) アプリケーション部 (株)島津製作所 分析計測事業部

#### 4. 新適塾

(1) 未来創薬への誘い コーディネーター : 大阪大学大学院薬学研究科 薬剤学分野 中川 晋作  
 大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野 小比賀 聡

開催日	演題	講師
第30回 平成27年 4月23日(木) 参加者105名	ドラッグリポジショニングとスマートヘルスケア	慶應義塾大学薬学部 分析化学講座 教授 水島 徹
第31回 平成27年 7月29日(水) 参加者92名	人工塩基対技術による高機能核酸医薬品の創出	理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター チームリーダー 平尾 一郎
第32回 平成27年 10月5日(月) 参加者76名	生物活性天然物と創薬を繋ぐ精密合成化学	大阪大学大学院薬学研究科 准教授 好光 健彦
第33回 平成28年 1月28日(木) 参加者101名	創薬と蛋白質科学: 相互作用解析を中心に	東京大学大学院工学系研究科 教授 津本 浩平

(2) 脳はおもしろい コーディネーター: 大阪大学大学院生命機能研究科 細胞分子神経生物学研究室 山本 亘彦  
 大阪蛋白質研究所 分子発生学研究室 古川 貴久

開催日	演題	講師
第9回 平成27年 6月24日(水) 参加者97名	記憶の脳内表現の可視化と操作	大阪大学大学院医学系研究科 分子行動神経科学 独立准教授 松尾 直毅
第10回 平成27年 9月28日(月) 参加者115名	神経変性疾患研究の新たな展開と将来展望	東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授 岡澤 均
第11回 平成28年 1月7日(木) 参加者72名	しっぽの中の神経系	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 動物学教室 教授 高橋 淑子
第12回 平成28年 3月25日(木) 参加者85名	睡眠・覚醒の謎に挑む	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) 機構長・教授 柳沢 正史

(3) 難病への挑戦 コーディネーター: 大阪大学大学院医学系研究科 分子神経学 山下 俊英  
 大阪大学大学院医学系研究科 分子病態生化学 菊池 章

開催日	演題	講師
第22回 平成27年	癌細胞の三次元特性 — 癌細胞塊初代培養法が明らかにする癌の新しい姿 —	大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター 生化学部 部長 井上 正宏

5月28日(木) 参加者85名		
第23回 平成27年 9月10日(木) 参加者92名	精神疾患の発症に強く関与する稀なゲノム変異の同定から病態解明へ	名古屋大学大学院医学系研究科 教授 尾崎 紀夫
第24回 平成27年 11月2日(月) 参加者82名	試験管内で腎臓を創る	熊本大学 発生医学研究所 腎臓発生分野 教授 西中村 隆一
第25回 平成28年 2月4日(月) 参加者86名	トランスレーション研究による神経難病の克服	国立精神・神経医療研究センター 神経研究所 免疫研究部、同病院多発性硬化症センター 部長、センター長 山村 隆

#### 5. 千里ライフサイエンス市民公開講座

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
第72回 平成27年 9月26日(土) 参加者 154名	睡眠と健康—良い睡眠が得られるように—  —演 題— ・不眠について学ぼう～不眠の原因と治療～ ・睡眠と生活習慣病～眠りは大切な生活習慣～ ・睡眠医療～あなたの眠りを守る～	国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎 (一財)住友病院 院長 松澤 佑次  —講 師— 大阪回生病院睡眠医療センター 部長 谷口 充孝 大阪大学 血液代謝学寄付講座 教授 船橋 徹 愛知医科大学 睡眠科 教授 塩見 利明
第73回 平成27年 2月20日(土) 参加者 121名	高齢者に多い脳・心臓疾患～患者にやさしい治療法の出現～  —演 題— ・大動脈弁の狭窄(詰まり)：カテーテルによる人工弁植込術 ・胸やお腹を開けずに手術ができます！～ステントグラフト手術を紹介します～ ・脳卒中をカテーテルで防ぐ・直す	国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎 (一財)住友病院 院長 松澤 佑次  —講 師— 国立循環器病研究センター 副院長 小林 順二郎 大阪大学大学院医学系研究科 低侵襲循環器医学 教授 倉谷 徹 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 山上 宏

#### 6. 小学生高学年生向け「小学生サイエンススクール」

回数	開催日	コーディネーター・講師	参加児童
第1回	平成27年 8月12日(水)	コーディネーター：日野林 俊彦 (大阪大学大学院人間科学研究科 教授) 大阪大学 豊中キャンパス 理学部  講 師 【あつという間に作って触れる大きな分子「高分子」】 山口 浩靖 (大阪大学大学院理学研究科 教授) 【電気と磁石はおなじもの?】 金谷 一郎 (大阪大学大学院工学研究科 准教授)	37名
第2回	平成27年 8月21日(金)	コーディネーター：日野林 俊彦 (大阪大学大学院人間科学研究科 教授) 大阪大学 豊中キャンパス内 理学部  講 師 【あかりのしくみとオリジナルLEDランタンづくり】 宮澤 佳代 (パナソニック(株) エコソリューションズ社)	36名

		【IT0電話からIT電話へ ～ミライの電話を作ってみよう】 伊藤 雄一 (大阪大学クリエイティブユニット 准教授)	
--	--	--	--

## 7. 高校生対象「ライフサイエンスセミナー：研究者と語ろう」

コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科 竹田 潔

開催日	演題	講師	参加者
平成27年 7月21日(火)	第8回ライフサイエンスセミナー 研究者と語ろう ー講演会ー ・はじめに ・生命科学の最近の進歩(仮題) ・生体内ライブカメラで見る、動く細胞が織りなす小宇宙 ・光と私達の世界～光で解明した物理学の不思議な世界～(仮題)	大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潔 医薬基盤研究所 理事長 米田 悦啓 大阪大学医学系研究科 教授 石井 優 大阪市立大学大学院理学研究科 教授 杉崎 満准	生徒173名 教師9名 父兄0名 計182名
平成27年 10月23日(金)	出前授業 ＜大阪府立春日丘高校 第1回＞ ・癌ってどうゆうもの？	京都大学大学院生命科学研究科 高次生命科学専攻高次生体統御学講座 教授 垣塚 彰	生徒70名 教師1名 父兄0名 計71名
平成27年 11月20日(金)	出前授業 ＜大阪府立春日丘高校 第2回＞ ・五感で楽しむ物理学 ～感覚のメカニズムとものづくりへの応用～	大阪大学大学院工学系研究科 環境・エネルギー工学科 教授 秋山 庸子	生徒28名 教師2名 父兄0名 計30名
平成28年 2月5日(金)	出前授業 ＜大阪府立春日丘高校 第3回＞ ・神経細胞が織りなす小宇宙：ヒト脳の不思議とその実際	大阪大学大学院医学系研究科 教授 佐藤 真	生徒26名 教師2名 父兄0名 計28名
平成27年 12月15日(火)	出前授業 ＜高槻高校 第1回＞ ・生体内ライブカメラで見る、生きた細胞の動きの世界	大阪大学大学院 生命機能研究科・個体機能学講座／医学系研究科・ 感染免疫医学講座・免疫細胞生物学教室 教授 石井 優	生徒24名 教師1名 父兄 名 計25名
平成28年 2月19日(金)	出前授業 ＜金蘭千里高校 第1回＞ ・癌ってどうゆうもの？	京都大学大学院生命科学研究科 高次生命科学専攻高次生体統御学講座 教授 垣塚 彰	生徒180名 教師8名 父兄 名 計188名

## 8. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	演題	講師	参加者
271回 平成27年 4月15日(水)	敵・味方感覚の実体：アリの社会のはなしですが	神戸大学大学院理学研究科 教授 尾崎 まみこ	72名
272回 平成27年 5月20日(水)	日本の伝統的発酵食品が担うピンピンコロリ型健康長寿社会	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科 准教授 井沢 真吾	82名
273回 平成27年 6月22日(月)	クロマグロの完全養殖達成と産業化への現況	近畿大学水産研究所 所長・特任教授 宮下 盛	67名
274回 平成27年 7月24日(金)	空海の人間観(仮題)	高野山大学 元教授 武内 孝善	82名
275回 平成27年 8月19日(水)	ゲリラ豪雨や竜巻を瞬時に把握ー世界最高性能の気象レーダの研究開発(仮題)	大阪大学大学院工学研究科 電気電子情報工学専攻 准教授 牛尾 知雄	61名
276回 平成27年	免疫調節分子(IL-6)の発見から抗体医薬へ“一免疫学者の半生”	千里ライフサイエンス振興財団 大阪大学免疫学フロンティア研究センター	92名

9月17日(木)		理事長・特任教授 岸本 忠三	
277回 平成27年 10月22日(木)	焦眉の急「巨大カルデラ噴火」： 火山列島に暮らすということ	神戸大学大学院理学研究科 地球惑星科学専攻 教授 巽 好幸	76名
278回 平成27年 11月4日(水)	コンピューターが人体解剖と外科 手術を理解する	奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 生体医 用画像研究室 教授 佐藤 嘉伸	62名
279回 平成27年 12月18日(金)	マンモスの復活を目指して	近医大学先端技術総合研究所 教授 加藤 博己	63名
280回 平成28年 1月14日(木)	海遊館の四半世紀 ～未来の水族館への第一歩～	(株)海遊館 館長 西田 清憲	68名
281回 平成28年 2月9日(火)	ニュートリノ研究の最前線 ～宇宙創成の解明へ～	神戸大学大学院江医学研究科物理学専攻 教授 竹内 康雄	81名
282回 平成28年 3月24日(木)	ES/iPS細胞の実用化にむけて ～その現状と展望～	京都大学物質・細胞統合システム拠点 教授 中辻 憲夫	87名

## 9. 産と学をつなぐ「SENRIの会」第六回

開催日：平成28年1月13日(水)

### 参加者リスト

#### (学)

菊田 順一 (大阪大学大学院 医学系研究科 助教)  
鈴木 教郎 (東北大学大学院 医学系研究科 講師)  
藤田 幸 (大阪大学大学院 医学系研究科 特任助教)  
堀江 貴裕 (京都大学大学院 医学研究科 特定助教)  
本田 知之 (京都大学 ウイルス研究所 助教)  
丸山 健太 (大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 特任助教)  
村上 智彦 (大阪大学大学院 歯学研究科 講師)

#### (産)

坂本 和仁 (旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター 薬理第一研究部 主幹研究員)  
許斐 綾子 (旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター 薬理第一研究部 ユニットリーダー 主幹研究員)  
古谷 真優美 (アスピオファーマ株式会社 免疫・炎症疾患フィールド 主席研究員)  
丸山 隆幸 (小野薬品工業株式会社 研究本部 プロジェクト評価部 主幹研究員)  
澤田 和孝 (小野薬品工業株式会社 研究本部 プロジェクト評価部)  
朝倉 賢治 (塩野義製薬株式会社 医薬研究本部 研究戦略オフィス・疾患戦略グループ グループ長)  
木原 毅 (塩野義製薬株式会社 グローバルイノベーションオフィス 評価グループ 専任課長)  
中西 敏行 (第一三共株式会社 先端医薬研究所 所長)  
扇谷 桃子 (第一三共株式会社 ベンチャーサイエンスラボラトリー ディスカバリー第二グループ 研究員)  
原田 秀幸 (大日本住友製薬株式会社 研究本部 研究企画部 部長)  
後藤 祐三 (大日本住友製薬株式会社 研究本部 研究企画部 調査グループ チームリーダー)  
佐藤 文彦 (武田薬品工業株式会社 CMSO日本オフィス オフィス長)  
杉田 尚久 (田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 トランスレーショナルリサーチ部 連携推進担当部長)  
永美 容一 (田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 トランスレーショナルリサーチ部 主幹)  
小寺 淳 (田辺三菱製薬株式会社 創薬本部 探索生物研究所 マネジャー)  
大泉 厳雄 (中外製薬株式会社 渉外調査部 副部長)  
石井 芳則 (東和薬品株式会社 事業開発室 担当部長)  
河城 孝史 (日本化薬株式会社 研究開発本部 医薬研究所 生物評価グループ グループ長)  
雑賀 寛 (日本化薬株式会社 研究開発本部 医薬研究所 ナノ医薬品グループ 炎症疾患チーム チーム長)  
安福 祥二 (日本新薬株式会社 創薬研究所 探索研究部 部長)  
福田 有 (日本臓器製薬株式会社 企画部 企画一課 課長)  
以上 13社21名

#### コーディネーター

岸本 忠三 千里ライフサイエンス振興財団 理事長  
木下 タロウ 千里ライフサイエンス振興財団 研究助成選考委員会 委員長

#### 研究紹介

- ・血管透過性ゲートによる免疫・炎症細胞の動態制御機構 (菊田 順一)
- ・エリスロポエチンの造血外機能の探索 (鈴木 教郎)
- ・中枢神経損傷におけるミクログリアの神経保護作用の解析 (藤田 幸)
- ・マイクロRNA-33a/bの脂質代謝における役割 (堀江 貴裕)
- ・低分子RNAによる新しいウイルス防御機構の解明とその制御方法の探索 (本田 知之)
- ・世界発の破骨細胞融合阻害液性因子、並びにあたらしい疼痛受容体の紹介とその治療応用 (丸山 健太)
- ・慢性炎症性疾患に関与するインフラマソームの解析 (村上 智彦)